

連載

## 文化財を巡る

## 『久松ミヤカ群〜久貝ぶさぎ〜』

No.48



松原・久貝には、文化財に指定されたミヤカが四基あり、一括して久松ミヤカ群として文化財指定されています。四基内の三件は松原に、一基が久貝にあります。今回は、久貝にありますミヤカについてご紹介いたします。

久貝のミヤカは、久松公民館敷地内にあり、「久貝ぶさぎ」と呼ばれています。久貝ぶさぎは、板状の石で方形に囲いをつくり、その内部に三基の石棺が設けられています。方形の囲いは、 $8m \times 9m$ の規格をなし、二重の石囲いとなっています。四基ある久松ミヤカ群の中では最も大きなミヤカになります。

石棺は周囲の囲いと同様に、板状の石を用いて壁と床を形成し、一枚岩の板状の石で蓋をしています。蓋をする一枚岩は部分的に欠けており、内部をみることもできませんが、現在は、本来埋葬されていた人骨等は残されていません。

ミヤカに用いられている石をよく見てみると、伊良部島のスサビミヤカでも紹介したように、海岸にあるビーチロックと、陸上にある琉球石灰岩が使用されています。囲い部分ではある程度混ざって使用されていますが、石棺部をみると、最も東側にある石棺は、ビーチロックのみを使用しているのに対し、残りの二基は、石灰岩のみで構成されており、使用する石材に明確な違いがみられます。この違いが、時代差を示すものなのか、その違いまでは現在のところ全く分かっていません。

なお、この久貝ぶさぎに葬られたのは、仲宗根豊見親の妻の父である安嘉宇立親といわれて

おり、仲宗根豊見親の生存年代を基準とするならば、十五世紀代の人物と考えられます。使用されているビーチロックについては、久松漁港の西側に位置する離れ島から切り出したと言われています。海岸のビーチロックを切り出すという技術は、十五世紀代の以前にはない技術であります。

久貝ぶさぎは、一九六〇年代まで石囲いも倒れていた状況にありましたが、金子エリカが発掘調査などを行い、現在の状況に復元を行っております。

※ミヤカの石積みや石棺は非常に損壊しやすいものですので、石の上ののったりはしないで下さい。



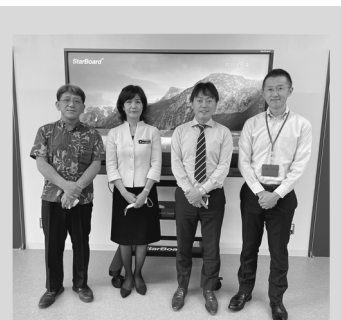
久松ミヤカ群〜久貝ぶさぎ〜

## TOPICS

## (株)iBoard Japan 市教育委員会へ電子黒板を寄贈

3月18日(木)、(株)iBoard Japanより液晶ディスプレイ型電子黒板(StarBoard TE-XP-75)の寄贈がありました。

令和元年度電子黒板整備事業で導入されたセンサー付ボードのメーカーで、学校でも活用されている電子黒板を、新庁舎開庁にあたり行政での業務効率化にも役立てて欲しいと寄贈いただきました。



## 宮古島市立教育研究所 第20期長期研究教員修了式

今年度一年間、宮古島市立北幼稚園所属の奥平千里教諭が、本研究所で幼児教育について『幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続～幼小連携を通して～』をテーマに研究を深めました。

3月23日に宮古島市役所2階大ホールにて、幼稚園・こども園・小学校低学年担当を対象に研究報告会を実施し、スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムについて理論・実践研究を発表しました。

3月26日には3階会議室にて修了式を実施。令和3年度から所属園にて深めた研究を実践していきます。



## 宮古島市立教育研究所 平良善信所長が就任



新年度より就任した平良善信所長に抱負をうかがいました。



平良 善信 所長

本年度、教育研究所の所長としてつとめる事になりました平良です。

本市の学校教育にかかる現状を把握し、関係機関・関係大学と連携を図りながら、教育現場・保護者・地域社会のニーズにあった支援ができるよう尽力して参ります。

## 令和3年度 教育研究所研究員入所式

教育実践に結びついた教育活動の推進を目的として開所された宮古島市立教育研究所に、今年度は新たに指導主事1名、研究員2名、事務員1名が入所しました。

### 砂川 陸紀 教諭(指導主事)

研究所では生徒の声が聞こえず…ちょっぴりさみしいですが、主事としての業務をはやく覚えて宮古島の子供たちの健やかな成長を育む現場の先生方への下支えや研究員の先生方へのサポートがしっかりできるよう頑張ります。

### 上村 俊介 教諭(平一小)

授業における児童の協働的な学びを、ICTを効果的に活用して実現するための研究を行います。半年間の研究に専念できる機会に感謝して、教師としての資質・能力を高めていきたいと思ひます。

### 羽地 留美 さん(事務員)

研究所としては初めての事務で分からない事ばかりですが、学校や宮古島の子供たちの教育のために尽力する所長や先生方の裏方として、日々の業務がスムーズにいくようサポートしていけたらいいなと思ひます。



### 與那嶺 誉代 教諭(久松中)

ICTを活用して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、授業改善に取り組んでいきます。これから半年間、このような研究ができることに感謝し、努力していきたいと思ひます。

### 子育てや学校生活で悩んでいませんか？

教育相談室では、学校や家庭で悩みがある児童・生徒、その保護者、または学校職員や教育関係者の相談・支援をいたします。

**教育相談室 ☎ 79-7819**

※相談等で話したことが、外部にもれることはありません。

